

第1・2・3学年美術科 シラバス（学習案内）

教科の目標

○中学校美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、完成を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

○中学校1年生の美術科の目標

- 1 基礎的な学習を身につけ、その楽しさを知る
- 2 対象をしっかり見つめ感じ取る力や想像力を高め、目的に応じて創意工夫して色や形で美しく表現する力を身に付けさせる。
- 3 あらゆる世界の自然造形や作品などに理解関心を持ち美術文化への興味意欲を高め観賞の能力を育てる。

○中学校2年生の美術科の目標

- 1 自然や身近なものの良さや美しさに対する関心を育てる。
- 2 感性、想像力を働かせてその良さや美しさを感じ取る力をつける。
- 3 自然や造形物に親しみその良さや美しさを感じ味わう力をつける。

○中学校3年生の美術科の目標

- 1 さまざまなものを深く見つめ、その中に美しさを感じ取る力を身に付ける。
- 2 表現の意図にそって表現の方法を工夫し創造的に表す力をつける。
- 3 自然や造形物に親しみその良さや美しさを感じ味わう力をつける

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
美術への関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容を理解し、粘り強く制作する姿勢を持っている。 ・ 集中して授業に取り組み、より良い作品を創り出そうとしている。 	忘れ物・学習準備・授業の取り組み・観察
発想や構想の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の持っている感性・想像力を工夫して表現しようとしている。 ・ 今まで培ってきた経験を元にさらに新しい世界を創り出そうとしている。 	作品評価 授業の取り組み・観察・テスト
創造的な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習したことの経験を積み重ね、自分の技能をさらに伸ばそうと努力している。 ・ よく考え、効果的な表現を探求しようとしている。 	作品評価 授業の取り組み・観察・テスト
観賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や造形物、あらゆる作品に対し、興味を持ち、その美しさ、良さを感じとり、自分の考えを持つことができる。 	作品カード・テスト

第 1 ・ 2 ・ 3 学年 美術科 学習計画

学年	学期	月	学習内容	学習のねらい
1	1	6	○オリエンテーション ○クロッキー デッサン ○レタリング ○観賞	・美術の学習の目的を伝える ・基本的な表現方法を学ぶ ・文字をデザインする
	2	10 11	○パズルの制作 ○木版画 * 3学期に続く	・パズルをすることで自由な発想を養い道具を安全に使うことを学ぶ ・日本独自の表現の世界を学び、その美しさを自ら制作することで感じ取る。
	3	1 3	○木版画 ○観賞	・美術史を学習することで現代の芸術の世界を知る
2	1	4 5	○オリエンテーション ○抽象の世界を表現する	・学習意欲を育てる ・表現技法を身に付ける。 ・自分の心に耳を傾け抽象的に表現することの楽しさを知る。
	2	10	○木彫で鍋敷きを作る	・手作りの楽しさを感じ作品に愛着をもてるようにする。
	3	1	○ポスターの制作	・身の回りのポスターの目的、効果を知る。 ・デザインにおける形の取り方、効果的な着彩を身に付ける。
3	1	4 5	○オリエンテーション ○キュビズムによる静物画	・学習意欲を育て3年間の集大成という意識をもたせる。 ・キュビズムという表現形式を理解し、その中心的芸術家である「ピカソ」の功績(現代芸術に与えた)を知る。
	2	10	○ボックスアートの制作	・3年間の集大成として位置づけ美術科で学習した技術、技法を全て使って作品を創る。 ・材料は極力家庭で不要になったものを再利用するような作品を目指す。
	3	1	○篆刻をつくる	・卒業制作としていねいに思い出に残るような制作を心掛ける。

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。